

既成の福澤論 吉イメージから脱却せよ

福澤諭吉といえば、天賦人權説や社会契約説の立場から日本の文明化の必要性を説きつづけた、欧化主義者、文明開化論者、啓蒙思想家としてのイメージを強くもつ思想家である。しかし、そのイメージは福澤思想のほんの二面ではない。既成の福澤イメージは戦後の左翼リベラリストが造作したものであって、福澤思想の真実は、もっと別のところにあると私は考える。



拓殖大学学事顧問
前総長 渡辺 利夫

福澤の代表作は、まぎれもなく『文明論之概略』である。これは日本の文明化の必要性を諄々と説いた著作だと、多くの人々によって受け取られているようだが、それだけでは他の明治の思想家の何人かが論じた主張の一種にすぎない。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保つためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

なる。つまり同書の最重要課題は独立であり、独立こそが目的なのである。そして福澤は、こう主張する。独立守護のために重要な徳目は、文明化という観点からすれば偏りがあるとはいえず、国家に報いようとする「報国心」でなければならぬ。国家若しくは死を決するは

忠君愛国といえ、これはいかにも私情にはちがいないが、この私情なくして旧時代にあっては諸藩の自立、現代にあっては国家の独立を守ることができない、という。

「至大至重」である。到達すべき「至大至重」の地点からみれば、西洋の文明の水準もまだまだ遙かなるものだ、と福澤はみ

「勝敗の極にいたりて始めて和を講ずるる者なり。学識に乏し

矛盾に充ち満ちた人間社会の虚実を伶俐に見据え、なお文明に近づかんとする思想的苦闘が福澤思想に他なら

洋諸国は列強としてアジア進出を暴力的に競い合っており、日本がこれに対抗して国家の独立を守るには、みずからが文明化の歩みを速め、文明国へと邁進しなければならぬ。現在の日本

ナショナリズムこそが最高のモラル

虚心に読み込むことが、開国・維新时期に酷似するほどに強い緊張を孕んだ現在の極東アジアにおいて、日本の立ち位置を確たるものとするためには、不可欠の知的作業だと私は考える。

福澤の真意は「今日の本国人を文明に進めるはこの国の独立を保つためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達するの術なり」である。そしてこれが『文明論之概略』の結論に他ならない。現在の日本

の独立こそが日本の文明の本質である。これが『文明論之概略』の結論であり、福澤にあっては現在の用語法でい

「西郷は少年の時より幾多の艱難を嘗めたる者なり。学識に乏し

私がこの度、「士魂」

「わたなべ・としお」1999年6月甲府市生まれ。慶応義塾大学、同大学院修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授、拓殖大学総長を経て現職。外務省国際協力に関する有識者会議議長。外務大臣表彰。正論大賞。著書は「成長のアジア 停滞のアジア」(吉野作造賞)、「開発経済学」(大平正芳記念賞)、「西太平洋の時代」(アジア太平洋賞)、「神経症の時代」(開高健賞)、「放

の独立こそが日本の文明の本質である。これが『文明論之概略』の結論であり、福澤にあっては現在の用語法でい

「西郷は少年の時より幾多の艱難を嘗めたる者なり。学識に乏し

私がこの度、「士魂」

「わたなべ・としお」1999年6月甲府市生まれ。慶応義塾大学、同大学院修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授、拓殖大学総長を経て現職。外務省国際協力に関する有識者会議議長。外務大臣表彰。正論大賞。著書は「成長のアジア 停滞のアジア」(吉野作造賞)、「開発経済学」(大平正芳記念賞)、「西太平洋の時代」(アジア太平洋賞)、「神経症の時代」(開高健賞)、「放

の独立こそが日本の文明の本質である。これが『文明論之概略』の結論であり、福澤にあっては現在の用語法でい

「西郷は少年の時より幾多の艱難を嘗めたる者なり。学識に乏し

私がこの度、「士魂」

「わたなべ・としお」1999年6月甲府市生まれ。慶応義塾大学、同大学院修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授、拓殖大学総長を経て現職。外務省国際協力に関する有識者会議議長。外務大臣表彰。正論大賞。著書は「成長のアジア 停滞のアジア」(吉野作造賞)、「開発経済学」(大平正芳記念賞)、「西太平洋の時代」(アジア太平洋賞)、「神経症の時代」(開高健賞)、「放

の独立こそが日本の文明の本質である。これが『文明論之概略』の結論であり、福澤にあっては現在の用語法でい

「西郷は少年の時より幾多の艱難を嘗めたる者なり。学識に乏し

私がこの度、「士魂」

福澤諭吉の
真実
士魂

SHIKON
Watanabe
Rikuo

渡辺利夫

福澤思想の「既製品」に頼ることなく福澤自身を書き残した文庫をその思いからである。

本社からの
お知らせ

◆地方講演・懇談会
▽11月15日(火)長崎
▽11月18日(金)福岡
▽11月28日(月)北九州

仙台 渡辺利夫氏「歴史認識問題の深淵を探る」
福岡 細川珠生氏「安倍一強時代の政治と外交政策を細川流に分析する」
▽11月28日(月)関西 有路昌彦氏「近大発ナマスとに

おわらないフリで狙う問題解決と経済創出」
▽11月28日(月)北九州 村田晃嗣氏「米国新大統領とこれからの日本と世界の情勢はどうなるか」